

## ( 1 ) 那須地域の防災対策の在り方について

### 想定課題

国会等移転と同時に、那須地域における防災対策の在り方も国政の中心地に相応しいものとするべきではないか。

### 対応方向

国会等移転の意義の一つに「災害対応力の強化」がありますが、これを実現することは、我が国にとっての緊急な課題となっています。

我が国の災害対応力を強化するためには、国会等を大規模地震の発生が心配されている東京から移転し、経済の中心である東京と同時に被災することがないようにしておくとともに、移転先新都市自体も国家の司令塔としての機能が損なわれないよう、万全の防災体制が整った都市として建設される必要があります。

したがって、国会等が移転した那須地域においては、国家政策として、質量ともに充実した防災対策が講じられ、我が国屈指の防災体制が整備されることになるものと考えられます。

さらに、那須地域は国家の司令塔となるわけですから、日本のどこで災害が発生した場合にも、速やかな対応を可能にする最先端の災害対応システムが併せて整備されることになるものと思われます。